

# 事前評価書

<p>1 事業名</p> <p>床上浸水対策特別緊急事業</p>	<p>路線名等</p> <p>一級河川 広田川、砂川、占部川</p>
<p>2 事業概要</p> <p>(1)位置 愛知県岡崎市</p> <p>(2)規模・内容 (広田川) 河道改修L=2800m、橋梁工N=5基等 (砂川) 河道改修L=600m、橋梁工N=4基等 (占部川) 河道改修L=3400m、橋梁工N=5基、遊水地等</p> <p>(3)事業期間 平成21年度～平成25年度</p> <p>(4)事業費 (広田川) 5,100百万円、(砂川) 1,600百万円 (占部川) 6,000百万円</p>	
<p>3 必要性</p> <p>広田川(支川砂川、占部川)は、流域面積約101.1km<sup>2</sup>、延長約19kmの一級河川であり、流域内には東海道本線や国道248号などの重要交通網が整備され、岡崎市南部を始め市街化が急激な勢いで進んであり、今後も進行すると予想される。</p> <p>そのような中、平成12年の東海豪雨で床上浸水91戸、平成20年8月末豪雨で床上浸水52戸の被害を受けるなど、浸水被害が多発している。</p> <p>このため、広田川は5k200(勅使橋付近)から8k000(砂川合流点)までの河道改修、橋梁改築等、砂川は1k700(上松橋下流)から2k300までの河道改修、橋梁改築等、占部川は0k000(広田川合流点)から3k400(針崎ポンプ場下流)までの河道改修、橋梁改築、遊水地整備等を行い、沿川の床上浸水の解消を目指す。</p>	
<p>4 事業効果</p> <p>(1)評価期間：事業着手から事業完了後50年間</p> <p>(2)基準年度：平成20年度</p> <p>(3)基準年における総費用(C)：(広田川・砂川)70.2億円 (占部川)64.9億円</p> <p>(4)基準年における総便益(B)：(広田川・砂川)475.3億円 (占部川)873.3億円</p> <p>(5)便益の内訳 一般資産、公共土木施設等</p> <p>(6)費用対効果(B/C)：(広田川・砂川)6.8、(占部川)13.4</p>	
<p>5 事業をめぐる社会情勢</p> <p>平成20年8月末豪雨により甚大な被害を受けており、地元の事業に対する期待度は高いものがあります。</p>	
<p>6 その他特記事項</p>	